

事業計画書（調査分析事業）

(1) 補助事業者について

補助事業者の概要を記載してください。

【商店街組織】

名称	〇〇商店街振興組合 (その他の例：〇〇事業協同組合、〇〇商店会 等)				
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地				
代表者 (役職・氏名)	理事長 〇〇 〇〇				
担当者 (担当部署名)	〇〇 〇〇 (事務局)				
担当者連絡先 (電話番号・FAX番号)	電話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇				
(メールアドレス)	〇〇@〇. 〇	人員体制	役員	〇 人 (うち常勤 〇 人)	
出資者又は 組合員の数	〇〇名		職員	〇 人 (うち常勤 〇 人)	
商店街を構成する 店舗数	〇〇店	中小指針の適用	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	中小会計要領の適用	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

【民間事業者】※連携体を構成して事業を実施する場合は記載のこと

名称	特定非営利活動法人〇〇 (その他の例：株式会社〇〇 等)				
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地				
代表者 (役職・氏名)	取締役 〇〇 〇〇 (その他の例：代表 〇〇 〇〇 等)				
担当者 (担当部署名)	〇〇 〇〇 (〇〇部〇〇課)				
担当者連絡先 (電話番号・FAX番号)	電話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇				
(メールアドレス)	〇〇@〇. 〇	人員体制	役員	〇 人 (うち常勤 〇 人)	
出資者又は 組合員の数	〇〇名		職員	〇 人 (うち常勤 〇 人)	
中小指針の適用	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		中小会計要領の適用	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
主な活動状況 (まちづくり事業やコミュニ ティ活動への参画状況)	半年に1回のペースで〇〇商店街を拠点にまちゼミを開催。その他、イベント 事業の開催においても企画段階から携わり、当日の人的配置等に協力している。				

中小指針、中小会計要領の適用有無について、該当するものを○で囲んでください。
 なお、適用の有無は、本事業の採否に影響ありません。

中小指針：会計専門家が役員に入っている会計参与設置会社が拠ることが適当とされているように、一定の水準を保った会計処理
 中小会計要領：中小指針に比べて簡便な会計処理をすることが適当と考えられる中小企業が利用することを想定した会計処理
 (ご参考：<http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/youryou/index.htm>)

(記載上の注意)
 (商店街組織、民間事業者がそれぞれ複数になる場合は、適宜記載欄を追加して下さい。)

事業計画書（調査分析事業）

連携体としての実態が十分に確認できるよう、それぞれの補助事業者の役割を具体的に記載してください。関与書(別紙4)の提出がある場合には、関与書に記載された連携する関係団体等との役割分担を具体的に記載してください。

事業実施体制 ※連携体を構成して事業を実施する場合は記載のこと

民間事業者との役割分担	<p>例：</p> <p>〇〇〇商店街は、調査内容の企画、関係機関との調整、経理等を担う。理事長は関係機関等との連絡調整、理事Aはアンケート調査内容についてNPO法人〇〇〇と連携して企画・立案、事務局員Aは経理等の事務を担当する。</p> <p>NPO法人〇〇〇は、調査内容の企画、調査の実施等を担う。代表が本事業の全体統括として、実施状況の管理、監督を行い、事務局長は〇〇〇商店街と連携して調査立案を担当する。</p> <p>また、本事業の実施にあたっては、地元自治会が調査内容の企画に協力、また〇〇大学〇〇〇〇教授から分析等に係る指導を受けることとなっており、〇〇市〇〇課の支援を受けながら進めていくこととしている。</p>
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 事業計画

①現状認識

補助事業名	例：〇〇〇調査事業
事業実施場所(商店街名)	例：〇〇〇商店街 (その他の例：〇〇商店会、〇〇商栄会 等)
商店街の概況(特徴、立地、店舗構成、来街者の概況、取組状況等)	<p>例：</p> <p>〇〇商店街は〇〇駅から〇km徒歩〇分に位置する、〇〇市の玄関口ともいえる中心的な商店街である。商店街は飲食店〇店、物販店〇店(日用雑貨品店〇店、薬局〇店、服飾店〇店)、サービス店(マッサージ店〇店、ネイル店〇店)等から構成されており、平日には通勤・通学者で賑わう人通りの多い商店街である。来街者の多くは〇〇であり、〇〇〇〇を・・・である。平日には人通りの多い当商店街であるが、学校・仕事が休みになる土日祝日には人通りが途絶えてしまう傾向にあり、休日の来街者確保が課題となっている。</p> <p>〇〇商店街では四季に応じて様々なイベントを実施しており、夏には「〇〇商店街夏祭り」、冬には「〇〇商店街年末祭」等を開催しているほか、まちゼミ等についても積極的に取り組んでいる。</p>
商店街組織における意欲ある若手リーダー、青年部、女性部等の活動	<p>例：</p> <p>女性部はこれまでも〇〇〇や〇〇〇などの活動をしており、独自で〇〇〇を開催するなど商店街活動への積極的な参画がある。今回の〇〇〇も女性部が中心となって開催することで、〇〇〇の効果があると考えている。</p>
調査実施後に実施を検討している事業	<p>例：</p> <p>地域資源を活用した、商店街オリジナル商品の開発や普及を目指している。〇〇〇の〇〇〇が図られる事業を実施するとともに、〇〇〇を活用した〇〇〇や〇〇〇などを〇〇〇する〇〇〇を開催することにより、商店街に人を呼び寄せる仕組みを構築し、魅力向上につなげる。また、〇〇〇に応じた〇〇〇を整備することで〇〇〇や〇〇〇することが期待できる。</p> <p>具体的には以下の事業を実施する予定である。</p> <p>①〇〇〇 事業目的、対象者、規模などを詳細に記載</p> <p>商店街内の〇〇〇において、〇〇〇地域で〇〇〇サービス等を展開しているNPO法人〇〇〇と連携して、商店街をPRできるような商品の開発や、〇〇〇を対象とした〇〇〇を開設し、〇〇〇や〇〇〇などを行ったり、定期的に〇〇〇を開催する。さらに、〇〇〇を併催し、〇〇〇が気軽に立ち寄り〇〇〇、〇〇〇ができる拠点とする。</p> <p>②〇〇〇 事業目的、対象者、規模などを詳細に記載</p> <p>〇〇〇の〇〇〇を活用し、〇〇〇を〇〇〇として、〇〇〇や〇〇〇など〇〇〇の〇〇〇を利活用した〇〇〇〇を実施し、〇〇〇に対して〇〇〇していく。</p>

調査分析事業終了後に実施予定の事業の実施場所を記載してください。(複数の商店街で実施する場合は、全ての商店街名を記載してください。)
※調査対象範囲ではありません。

各事業の詳細および各事業を実施することがいかに事業目的の達成に寄与するのかについても詳細に記載してください。

事業計画書（調査分析事業）

②調査事業概要

<p><調査①> 【ニーズ調査】</p>	<p>(対象範囲)</p> <p>調査対象とする商店街、エリア、対象者属性等および、それらを対象とする理由を記載してください。</p> <p>(調査内容) 例：</p> <p>1-1 住民アンケート調査 調査実施地域：〇〇市〇〇町 調査対象：〇〇市〇〇町の地域住民 配布数：〇〇〇名 抽出方法：無作為抽出 調査方法：郵送による配布・回収 想定回収率：〇〇% (数値の根拠： 〇〇市 市民満足度調査の回収率を参考に設定 想定している質問内容：1. 〇〇〇〇〇〇に求める機能 2. 〇〇〇〇〇〇 3. 〇〇〇〇〇〇 4. 〇〇〇〇〇〇 5. 〇〇〇〇〇〇 等</p> <p>1-2 ヒアリング調査 アンケート結果に基づき、対象者（対象者数、世代、属性、対象者の選定理由等の詳細が〇〇〇についてヒアリングを行う</p> <p>1-3 地域で活動する団体へのアンケート調査 調査対象地域：〇〇市〇〇町 配布団体数：〇〇団体 選定方法：当該地域において〇〇〇している団体 調査方法：郵送による配布・回収 想定している質問内容：1. 活動を行っていく上での地域課題 2. 〇〇〇〇〇〇 3. 〇〇〇〇〇〇 4. 〇〇〇〇〇〇 5. 〇〇〇〇〇〇 等</p> <p>分析方法 アンケート調査は、〇〇、〇〇、〇〇といった項目からクロス分析を行い、〇〇〇の〇〇〇に対する〇〇〇や〇〇〇などの把握を行う。</p>
<p><調査②> 【マーケティング調査】</p>	<p>(対象範囲)</p> <p>調査対象とする商店街、エリア、対象者属性等および、それらを対象とする理由を記載してください。</p> <p>(調査内容) 例：</p> <p>2-1 データ調査 商圈の状況を把握するため、地域の人口規模、人口増減、高齢化率、就業人口（昼間人口）、商業売り場面積、立地状況、消費者の所得・購買力等の統計</p> <p>2-2 商店街の歩行者通行量調査 実施場所：〇〇〇商店街内（2地点） 実施予定時期：〇月に〇日間ほど実施 実施時間：10時～18時（予定）</p> <p>2-3 住民アンケート調査 (1-1アンケートの中で実施) 調査実施地域：〇〇市〇〇町 調査対象：〇〇市〇〇町の地域住民 配布数：〇〇〇名 抽出方法：無作為抽出 調査方法：郵送による配布・回収 想定回収率：〇〇% (数値の根拠： 〇〇市 市民満足度調査の回収率を参考に設定 想定している質問内容：1. 〇〇商店街の利用頻度 2. 〇〇〇〇〇〇 3. 〇〇〇〇〇〇 等</p> <p>2-4 採算性調査 各調査をもとに、ランニングコスト、利用見込み者数等をふまえて事業開始後の歳入歳出モデルを試算</p> <p>分析方法 上記データ調査、アンケート調査等から、〇〇〇〇、〇〇〇〇の観点から〇〇〇〇するための〇〇〇〇を検証する。また、〇〇大学〇〇〇〇教授（〇〇ゼミ生を含む）からの指導の下、詳細な分析を実施することとする。</p>
<p>補助事業期間</p>	<p>平成〇〇 年 〇〇 月 ～ 平成〇〇 年 〇〇 月</p>